



江戸川区立鹿骨中学校

SHISHIBONE JUNIOR HIGH SCHOOL

令和6年度 学校要覧



〒133-0073

東京都江戸川区鹿骨2丁目12番1号

TEL 3678-5166

FAX 3678-5405



学校ホームページ

共磨き～対話と体験～



校歌

作詞 奥村敏雄
作曲 石野和子

一 都の東江戸川の

広野に建てるわが母校

高き理想と清純の

心みがきてさわやかに

こゝに集えるはらからは

あゝわれら鹿骨中学校

二 神鹿の里うまし野の

沃野に建てるわが母校

強き腕と青春の

からだ鍛えてすこやかに

こゝに集えるはらからは

あゝわれら鹿骨中学校

三 百花競える鹿骨の

緑野に建てるわが母校

篤き友情信愛の

友と交わりなごやかに

こゝに集えるはらからは

あゝわれら鹿骨中学校

鹿骨中学校学校経営全体計画

教育目標

- 1、みずから学び考えて行動する生徒
- 2、思いやりのある豊かな心をもった生徒
- 3、健康で明るく勤労と責任を重んじる生徒

目指す生徒像

学び方を身につけた生徒

何をどのように学ぶかを自ら決定し、高い学習意欲と学習の目標を持って生涯を通して使うことのできる「学び方」を身につけた生徒を育成します。

目指す学校

共に磨き合い、みんなが幸せになれる学校

一人一人を大切にし、対話と体験を通して、多様な他者と共に磨き合うことができる学校を目指します。

教育目標を具現化するために

令和6年度 重点目標

授業を大切にする

わかる授業・個別最適化の実現

- ・鹿骨授業スタンダード (SJS)
- ・あじみこし
- ・振り返りの重視

これらの実践を通して授業を改善、充実させ、学力向上を図る。

学級を大切にする

学級は生徒の居場所。安心できる学級をみんなで作る。

違いを認め、協働できるよう、特別支援教育の充実を図り、生徒の一人ひとりの生徒理解に基づく学級指導を実現する。

対話と体験の充実

生徒が主役の学校行事を土台に、外部教育資源を活用した授業・取組を展開し、教育の充実を図る。

リアルを大切にする。本物に触れることが成長の糧となる。

学びを支える「チーム鹿骨」

教職員のチーム

教職員と専門スタッフがチームで学校運営を行う

ジョブ型の役割分担で得意を生かす

保護者のチーム

PTA

学校公開の参加
行事の参観

地域のチーム

学校応援団

地域コミュニティ (地域行事の協力)

ボランティア活動、部活動の外部協力

関係機関

児童相談所、学校サポート

NPO、医療機関、警察と連携し、災害に強いコミュニティに貢献

共に育てる
共育

学校が要となって、保護者、地域全体で次の世代を育てる

重点目標 1
授業を大切に



学習規律の確立



わかる授業



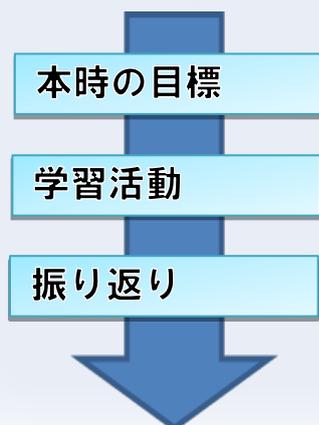
学び方を身につけた生徒



SJS 鹿骨授業スタンダード

授業編

授業規律編



- あ** あいさつ
- じ** 時 間
- み** 身だしなみ
- こ** 言葉づかい
- し** 姿 勢

「わかる授業」とは
 「何を学ぶのか」
 「どのように学ぶのか」
 「何を学んだのか」
 がわかること。
 授業の構造（スタイル）を統一（スタンダード）して、どの生徒にとってもわかりやすい授業にします。

『鹿骨授業スタンダード（SJS）』はゴールを明確にし、学習の流れを確かめ、授業の最後に振り返りを行うことで自分の今の課題を浮き彫りにし、生徒自身が主体性を持って次の学習に挑めます。

授業規律『あじみこし』
 「あ」あいさつ
 「じ」時間
 「み」身だしなみ
 「こ」言葉づかい
 「し」姿勢
 全ての授業でこの5つを指導します。



数学習熟度別少人数教室



個別最適化

基礎学力の定着
 一人一人の課題を解決できるよう、数学習熟度別少人数教室を実施しています。

一人一人に合った学び

重点目標 2

学級を大切にする

～学び合い、協働できる学級の実現～



学級活動



運動会



合唱祭

多様な体験を
生かした学級づくり



林間学校



修学旅行



校内作品展

重点目標 3

対話と体験の充実



中学生がつくるポプラ祭



放課後補習教室

外部教育資源の活用



花いっぱい運動



ALTによる授業



チャレンジ・ザ・ドリーム



江戸指物教室

時程表

登校	8:10~8:20	昼休み	13:05~13:25
朝礼・朝読書	8:20~8:35	5校時	13:30~14:20
学活	8:35~8:40	6校時	14:30~15:20
1校時	8:45~9:35	学活・清掃	15:20~15:40
2校時	9:45~10:35	下校	月・火・木・金 15:40
3校時	10:45~11:35		水 14:40
4校時	11:45~12:35	部活動等 最終下校	3月から10月 18:30
給食	12:35~13:05		11月~2月 18:00

生徒数（令和6年4月25日）

	学級数	男子	女子	合計
1年	4	57	72	129
2年	4	71	54	125
3年	3	40	53	93
合計	11	168	179	347



教職員数（令和6年7月1日）

校長	1名	特別支援専門員	1名
副校長	1名	スクールカウンセラー	1名
主幹教諭	3名	スクールソーシャルワーカー	1名
主任教諭	9名	事務	3名
教諭	5名	用務主事	3名
非常勤教員	1名	副校長補佐	1名
主任養護教諭	1名	スクールサポートスタッフ	1名
講師	9名	栄養士(委託)	1名

部活動

野球部	吹奏楽部
ハンドボール部	美術部
ソフトボール部	パソコン部
陸上部	英語部
バレーボール部	文芸部
バドミントン部	家庭科部
サッカー部	からだづくり部

令和6年度 行事予定

4月	始業式・入学式・セーフティ教室 薬物乱用防止教室・保護者会	11月	開校記念日・江戸川区教育課題実践推進校発表会・ 期末考査
5月	生徒総会・運動会	12月	三者面談・2学期終業式
6月	期末考査	1月	3学期始業式・校内作品展・1年校外学習
7月	1学期終業式・三者面談・林間学校	2月	2年校外学習・学年末考査
9月	2学期始業式・学校説明会 中間考査	3月	3年校外学習・合唱祭・卒業式・保護者会 修了式
10月	修学旅行・職場体験・ポプラ祭		

沿革史

昭和53年	4月1日	本校開校 初代校長 奥村敏雄就任
53年	8月2日	プール完成引き渡し
53年	11月2日	校歌、校旗制定
53年	11月10日	施設完成、開校記念式典
54年	9月8日	校地拡張 1,060.23㎡
57年	2月26日	校舎増築完成引き渡し
57年	9月22日	第二音楽室完成
58年	4月1日	第二代 原秀夫校長就任
59年	9月15日	江戸川区研究奨励校 「学習効果を高める教科指導」
62年	4月1日	第三代 野本忠晴校長就任
63年	3月25日	校地拡張 1,694.77h㎡
63年	9月8日	正門・校庭改修竣工
63年	9月19日	江戸川区研究奨励校 「自己実現をめざす学級経営のあり方」
63年	11月1日	校庭体育倉庫新築竣工 開校10周年記念式典挙行
平成2年	4月1日	第四代 遠藤裕資校長就任
3年	4月15日	江戸川区研究奨励校 「自ら学ぼうとする生徒を育てる」
4年	11月2日	創立15周年記念式典挙行
5年	4月1日	第五代 猪爪貴保校長就任
7年	4月1日	江戸川区創意ある教育活動研究奨励校 「教育相談を通した生徒理解について」
9年	4月1日	第六代 村沢絃校長就任
10年	4月15日	江戸川区創意ある教育活動研究奨励校 「豊かな心をもち自ら学び考えて行動する生徒の育成」
10年	10月22日	開校20周年記念式典挙行
11年	4月15日	江戸川区創意ある教育活動研究奨励校 「新教育課程の実現に向けて」
14年	4月1日	第七代 内山康雄校長就任
14年	8月25日	第31回全国中学校ハンドボール大会女子優勝
15年	4月15日	江戸川区教育課程実践推進「中高連携教育」
16年	9月1日	校内LAN配備完了
19年	4月1日	第八代 水野眞里子校長就任
19年	9月1日	普通教室冷房機設置完了
20年	10月28日	開校30周年記念式典挙行
23年	4月1日	第九代 平塚喜宏校長就任
27年	4月1日	第十代 牧野英一校長就任
29年	4月1日	江戸川区教育課程実践推進校 「エンカウンターの実践と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」
30年	3月13日	プール改修工事完了
30年	4月1日	第十一代 青山昭広校長就任
30年	11月2日	開校40周年記念式典挙行
令和2年	9月28日	校舎、体育館外壁塗装工事完了
3年	4月1日	第十二代 大谷雅也校長就任
6年	4月1日	江戸川区教育課題実践推進校 「学力向上 学び方を身につけた生徒の育成」



学校へのアクセス

- (1) JR 総武線「小岩駅」より
京成バス[小73] 「小岩消防署前」バス停下車徒歩4分
- (2) JR 総武線「新小岩駅」より
京成バス[新小71] 「前沼橋」バス停下車徒歩5分
- (3) 都営新宿線「篠崎駅」下車徒歩15分

周辺地図



江戸川区立鹿骨中学校

SHISHIBONE JUNIOR HIGH SCHOOL

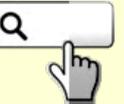
東京都江戸川区鹿骨2-12-1

TEL:03-3678-5166

FAX:03-3678-5405



鹿骨中学校HP



「鹿骨」の地名の由来

鹿島神宮の鹿島大神が大和国(現在の奈良県)に赴く途上、神鹿がこの地で斃れたので、塚を作って葬ったのが起源である。その塚が「鹿見塚」であり、「鹿骨」という地名の由来となっている。



江戸川区教育委員会揭示より